



感謝の心を育てる



ミラノ・コルティナオリンピックが閉幕しました。多くの選手の活躍に感動するばかりでした。その中でも、心に残ったのが選手一人一人の感謝の言葉です。努力を重ね血の滲む思いで頑張ってくれた選手のこれまでの過程を想像すると、結果よりも大事なことを教えてくれているように感じました。オリンピックへの舞台に立てたことへの感謝。これまで支えてくれた関係者や家族への感謝。応援して下さった方々への感謝。学校でもこれから、いろいろな方への感謝があり、その思いをどう伝えるか子どもたちとともに考え、表現できる子どもに育てていきたいと考えております。さて、卒業証書授与式まで残り14日となりました。先週は、6年生に感謝を伝える『6年生を送る会』が行われ、一人一人が感謝の気持ちを伝えたところです。

6年生を送る会

～6年生が安心して卒業できる会にしよう～



5年生は、3学期に入ってから準備をしてきました。初めての経験で戸惑うこともありましたが、当日は堂々と会を運営することができました。5年生の個性豊かな企画に、全校生大盛り上がり。6年生も入場から退場まで笑顔いっぱいの様子が見られました。6年生にインタビューしたところ「5年生がしっかり会を運営し、ゲームではたてわり班がみんな協力して取り組んでいたの、安心して卒業できそうです。」と語っていました。

次ページより 学校評価の結果をお示しします。

★学校評価を来年度の教育活動に反映させて参ります。ありがとうございました。

学校教育目標「知・徳・体の調和がとれ、

心身ともにたくましく、人間性豊かな児童を育成する」

よりよい学校づくりにむけて

令和7年度 学校評価アンケートの結果と今後の学校運営について

児童は「かしこい子ども あかるい子ども たくましい子ども」を目指して、学習や様々な教育活動に励んでいます。本校では、学校教育目標の具現化に向けて学校経営の柱を定め、その中から下記の3点を学校経営の重点として、教育活動に取り組んできました。

<令和7年度学校経営の重点>

重点1 安心・安全・安定した「あたたかい」学校の実現

重点2 少人数の強みを生かした「確かな学力」を育成する学校の実現

重点3 家庭・地域・学校が共に歩み開かれた「ふるさと」の学校の実現

今年度の学校経営がどうだったか、児童はどの程度目標及び重点を達成することができたのか、保護者の皆様からお寄せいただいた評価及びアンケートと児童、教職員の自己評価を分析し、これからの学校教育活動に生かしてまいりたいと考えています。

※1 数字の見方「4:当てはまる」「3:やや当てはまる」「2:あまり当てはまらない」「1:当てはまらない」の人数の割合(%)、評価平均が3以上だと高い評価を得たととらえています。

※2 ○:成果 ●:課題

※3 学校経営の重点に即して配列してありますので、学校教育目標と順序が若干異なります。

1 安心・安全・安定した「あたたかい」学校の実現

回答者	設問	評価				評価平均
		4	3	2	1	
児童	① 学級はあたたかく、友達同士認め合い、安心して生活している。	6 6	2 9	1	1	3.54
	② 縦割り班活動(縦割り班清掃・縦割り班遊び・芋煮会など)により、違う学年の友達との関わりが増えたり、思いやりのある行動をしたりしている。	6 6	3 1	0	1	3.58
	③ 学校や学級で、自分たちらしくらしをつくろう縦割りうとして動いたり、ともにつくろう楽しい学校の「あいうえお」に取り組んだりしている。	5 4	3 7	3	3	3.36
保護者	① 学校では、お互いの個性を尊重し、ともに学び、ともに生活する取り組みを行っていますが、お子さんは自分らしく学校生活を送っていますか。	6 6	3 0	3	0	3.60
	② 道徳の学習、児童会活動や縦割り班活動などの特別活動をとおして、お子さんは楽しく学校生活を送っていますか。	5 7	3 9	3	0	3.51
	③ 学校は、お子さんや保護者の方の思いや願いの実現のため、組織的に取り組んでいますか。	5 1	3 3	1 2	3	3.30

教職員	① 学校では、お互いの個性を尊重し、ともに学び、ともに生活する取り組みを行っていますが、子供たちは自分らしく学校生活を送っていますか。	6 6	3 3	0	0	3.63
	② 道徳の学習、児童会活動や縦割り班活動などの特別活動をとおして、子供たちは楽しく学校生活を送っていますか。	6 6	3 3	0	0	3.63
	③ 学校は、子供たちや保護者の方の思いや願いの実現のため、組織で取り組んでいますか。	7 5	2 5	0	0	3.75

1の項目については全体的に高い評価をいただきました。「1」や「2」の評価をつけてくださったお子さんや保護者の方「3」や「4」になるよう、残りの3学期に取り組んでまいります。

①〇今年度は、クマ対応のため、保護者の方にお子さんの送迎にご協力いただきました。おかげ様で安全を確保することができました。ありがとうございました。

②〇児童会が企画した縦割り班活動等により、友だちのよさを知り、異学年交流を深めることができました。今後も、縦割り班活動や異学年交流のめあてを明確にして、リーダーシップとフォロワーシップを育てていきます。

③〇いじめや不登校を未然に防止するために、月1回いのちの日に「心のアンケート」を実施してきました。児童が悩んでいること、頑張っていることを全職員で共有し、児童理解に努め、一人一人の頑張りを認めるようにしてきました。友だちが困っていることや小さいいじめの早期発見、早期対応にもつながっています。

●お子さんのことについて日常的にどんなことでも相談できるよう、保護者の方への学校としての働きかけが十分ではありませんでした。保護者の方との日常的な対話を大切に、皆様の声に真摯に向き合ってまいります。

2 少人数の強みを生かした「確かな学力」を育成する学校の実現

回答者	設 問	評 価				評価平均
		4	3	2	1	
児童	④ 自分から進んで授業や家庭学習に取り組んでいますか。	4 7	4 3	7	1	3.32
	⑤ 図書をたくさん読むようにしたり、音読に一生懸命に取り組んだりしている。	5 2	2 9	1 3	3	3.24
	⑥ 外国語の学習やALTの先生との会話などにより、外国語に親しもうとしている。	7 0	1 9	3	5	3.46
	⑦ めあてをもって体育の学習に一生懸命に取り組んでいる。	7 4	2 1	1	1	3.62
保護者	④ 学校では「学びの楽しさ」を実感できる授業づくりに取り組んでいますか、お子さんは進んで学習に取り組んでいますか。	5 4	3 0	1 2	3	3.33
	⑤ 朝読書・読み聞かせなど読書活動の充実と音楽や芸術鑑賞により、お子さんは読書に親しんだり、感性が豊かになったりしていますか。	3 6	4 2	1 5	6	3.06
	⑥ 外国語の学習やALTの先生との会話や外国語の絵本の読み聞かせなどにより、お子さんは外国語を身近に感じたり親しもうとしたりしていますか。	4 2	2 7	2 1	9	3.00
	⑦ 体力・運動能力を高める指導と健康の保持増進に取り組んでいますか、子供たちは前向きに運動したり健康に気を付けたりしていますか。	3 9	3 0	2 1	9	2.97

教職員	④ 学校では「学びの楽しさ」を実感できる授業づくりに取り組んでいます。子供たちは主体的に学習に取り組んでいますか。	25	75	0	0	3.25
	⑤ 朝読書・読み聞かせなど読書活動の充実と音楽や芸術鑑賞により、子供たちは読書に親しんだり、感性が豊かになったりしていますか。	41	41	16	0	3.19
	⑥ 外国語の学習やALTの先生との会話や読み聞かせなどにより、子供たちは外国語を身近に感じたり親しもうとしたりしていますか。	58	16	25	0	3.30
	⑦ 体力・運動能力を高める指導と健康の保持増進に取り組んでいます。子供たちは前向きに運動したり健康に気を付けたりしていますか。	25	58	16	0	3.06

2の項目については、保護者・教職員の評価より、子供たちの評価が高い傾向にありました。

④○「学びの楽しさ」を実感する授業の創造を目指して、授業改善に取り組んできました。また、「わくわくチャレンジタイム」を設け、自ら課題を設定し、主体的に学ぶ姿が見られた。

●指導者の支援の仕方や役割には、課題がある。どうすれば課題を解決することができるのか、子供たちと共に考えていきます。

⑤○「青空カンガルー」や「おはなしの会」による読み聞かせ、図書委員会の活動等により、本に親しむ児童が増えています。今年度は2回の音楽鑑賞教室を実施することができ、豊かな感性の育成の一助となりました。

●一方で、あまり本を手にしないう児童が固定化してきている現状があります。図書館教育担当を中心に掲示や放送等で本の魅力を発信し教科学習と関連のある図書を勧めたり、紹介したりするなど、読書への関心を高めていくとともに読書の質の向上を図っていきます。

⑥○毎週木曜日のロング昼休みの時間を「イングリッシュタイム」として、視聴覚室を開放しています。ALT とともにゲームをしたり、英語の本を読んだりしています。また、1・2年生も裁量の時間に外国語(英語)の活動に親しんでいます。

⑦●体力テストで課題である持久走、瞬発力、投てき能力などを育成する遊び・運動を、適宜教科体育の導入で行うことを検討しています。体力テストや運動の記録が記載された「運動のあゆみ」を冬休みに各家庭に配付し家庭でもできるそれぞれの運動力を高める運動、遊びの例の紹介を行います。また、家庭と連携して生活習慣を見直し、健康な生活を意識して実践できる取組みと、休み時間の体を動かす遊びの奨励や、体力・運動能力の向上を図る体育の授業づくりを今後も継続し運動に日頃から親しめるよう工夫していきます。

3 家庭・地域・学校が共に歩み開かれた「ふるさと」の学校の実現

回答者	設問	評価				評価平均
		4	3	2	1	
児童	⑧ 家庭・地域・学校で自分から明るくあいさつをしている。	60	31	5	1	3.44
	⑨ 生活や総合、他の学習などを通して、高崎のことを知り、いいところや好きなところを見つけている。	68	23	3	3	3.50
	⑩ 高崎小学校の学校便りや学級便り、ホームページを見て、学級・学校のことを知っている。	47	37	11	3	3.24
保護者	⑧ 家庭・地域・学校の連携、三中生徒会との連携によるあいさつ運動で、お子さんは明るくあいさつをしていますか。	36	36	24	3	3.03

	⑨ 生活・総合・行事などにより、お子さんは高崎の自然・文化・産業などを知り、郷土愛や愛校心が育まれていますか。	4 8	4 5	3	3	3.39
	⑩ 高崎小学校の色々なお便りやホームページ等の情報発信により、学級・学校の様子を伝えることができていますか。	5 4	3 0	1 2	3	3.33
教職員	⑧ 家庭・地域・学校の連携、三中生徒会との連携によるあいさつ運動で、子供たちは明るいあいさつをしていますか。	4 1	2 5	3 3	0	3.05
	⑨ 生活・総合・行事などにより、子供たちは高崎の自然・文化・産業などを知り、郷土愛や愛校心が育まれていますか。	5 0	5 0	0	0	3.50
	⑩ 高崎小学校の色々なお便りやホームページ等の情報発信により、学級・学校の様子を伝えることができていますか。	5 0	5 0	0	0	3.50

3の項目⑧についても保護者・教職員の評価より子供たちの評価が高くなりました。

⑧〇小小連携・小中連携として、交流学习を進めてきました。また、三中校区の教職員が参集して、3部会(生徒指導・学力向上・特別支援教育)で話し合い、それぞれの取組みや課題等を共有することができました。さらに充実した取組みにしていきたいため、年間、また学年間の系統性を考慮した連携事業にしていきたいと考えます。

●家庭・地域との連携を図り、三中校区が一体となって児童生徒の育成に向かっていくことができるようにしていきたいと考えています。特に、家庭・地域にもあいさつの輪が広がるよう三中校区で連携していきます。

⑨〇本校の特色ある教育活動として、今年度も「ふるさと学習」の充実を図ってきました。農業体験学習では、栽培から収穫等、一連のつながりを体験したことで、育てることの大変さや楽しさ、収穫の喜びを実感することができました。

●里山学習は、クマ対応のため全体として実施することができませんでした。その中でも学年段階に応じた活動を設定し、高崎の自然の豊かさを実感することができました。関山愛林公益会をはじめとする地域の皆様の温かさや地域を大切にしている思いに触れることができました。これからも「ふるさと学習」を通して、高崎のよさや魅力を学び郷土愛の醸成につなげていきたいと考えます。

⑩〇学習や生活の様子など本校の教育活動を、ホームページや各種おたよりでわかりやすく伝えることで、本校の学校経営を理解していただけるよう努力して参りました。また、マスメディアからも報道してもらうことで、広く関心をもってもらえるよう努めてきました。本校の教育をご理解いただき、家庭・地域とともに連携・協力し、よりよい経営ができるようにしていきます。また、保護者の方に教育活動を見ていただくために常に学校を開き、来校できる機会も設けていきたいと考えます。

●学校ホームページへの情報発信の件数が学年によってばらつきがあるとのことご意見をいただきました。学年ごとの回数を揃えるために、発信の回数が減らないよう更新してまいります。

4 アンケート項目以外の自由記述を踏まえた学校としての考え

本校の特色ある教育活動として、「総合的な学習の時間の充実」と「外国語活動の充実」があげられます。外国語活動については、グローバルな子供の育成をめざし、異文化交流やコミュニケーション力の向上を図っていきます。また、よりよい教育活動を展開し、子どもたちの確かな学力の育成につながるように、ふるさと学習を含めた総合的な学習の時間を中心とした教育課程の改善を図っていきます。

少人数の強みを生かし、一人一人の実態に応じたきめ細かい指導・支援と、仲間と協働して主体的に学習に取り組み課題を解決していく学習の進め方・学び方の指導をこれからも進めていきます。「学びの楽しさ」を実感することができるよう、校内研究の充実と「わくわ

くチャレンジタイム」のアップデートを行い、自ら課題を解決する子供たちを育成してまいります。

高崎小学校は来年度、創立150周年を迎えます。教育活動のさらなる充実のため、行事等の見直しを図っていきます。育成をめざす資質・能力を具体化・焦点化して、必要な教育活動を検討し実施してまいります。PTAの皆様・地域の皆様には、ご協力いただくことが一段と増えますが、その際は、変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。保護者の皆様や地域の皆様と主体的に連携して、その声に真摯に向き合う学校の体制を築き、教職員の指導力の向上につなげてまいります。

5 学校運営協議会より 第2回学校運営協議会

日時：令和8年1月16日（金） 13：00～15：00

学校運営協議委員

高崎公民館長	東海林雅彦	氏
関山愛林公益会事務局長	片桐 正秀	氏
高崎地区子ども育成会会長	星川 雄介	氏
高崎小学校 PTA会長	菅野 良幸	氏
高崎アフタースクール代表	佐藤 哲子	氏
高崎学童クラブ児童支援員	深瀬さとみ	氏
学識経験者（元小学校教員）	中里 浩子	氏
高崎小学校 校長	阿部 玲子	
	教 頭	阿部 剛
	教務主任	三上 裕子



学校評価を受けて、学校評議員会では大きく次のことについて、どのように改善していくかご意見をいただきました。

（1）特色ある活動について

高崎小学校には、様々な特色ある活動があるが、今年度の実績から検討すべき課題があげられた。1つ目としては、クマ関連である。秋の季節に屋外の活動が制限せられ、里山学習をはじめ、体育の授業までもが制限された。来年度も里山学習を含む、ふるさと学習を行う予定であるが、関係機関と連携して、子ども達の安全を最優先に柔軟な対応を考えてほしい。2つ目として、外国語活動に小規模特認校のキャッチフレーズとして取り組んでいるが、評価が低めになっている。3つ目としては「わくわくチャレンジタイム」の様子から、子ども達や先生方の熱意を感じる。少人数だからこそできるチャレンジで力をつけてほしい。

（2）体力の向上の取り組みについて

昔は、徒歩通学の児童が多く、高崎小の子ども達は他の学校の子どもより体力がついていたと思う。今年はクマ対応で体育の授業も制限されたが、体力向上の手立てを充実させてほしい。

また、地元のスキー場を活用したウインタースポーツ教室はよい取り組みである。ただ、道具の準備を負担に感じる保護者もいるのではないか。使わなくなったスキーの寄付を募り、活用してはどうか。

（3）高崎小学校の情報発信について

児童の学校生活の様子や学校の取り組みについて、ホームページに情報が載せられており、活用している保護者も多い。また、「森林マルシェ」のように、マスコミの取材を積極的に受け入れた情報の発信を継続していただきたい。

6 わくわくチャレンジタイムの取り組みについて

(1) スタディー・クエストでの子どもたちの成長の類型（自由記述）

カテゴリ	具体的な回答内容（抜粋）
学習スキル・知識	<ul style="list-style-type: none"> ・授業だけではできないことに専念できた ・ゲーム作りがもっと楽しくなった ・気になったことをすぐに調べるようになった
思考・探究心	<ul style="list-style-type: none"> ・前よりもっといろいろなことを考えられるようになった ・新しい発見をすることができた ・疑問を解決する力がついた
協働・対人関係	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと協力して仲良くなれた ・みんなと協力する心が成長した ・自分の意見をしっかり言えるようになった
自己管理・姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力がついた ・あきらめずに取り組めるようになった ・自分から進んで行動できるようになった

(2) スタディー・クエストの成果と課題

○成果について

- ・「計画する力」の向上

成長実感として「計画する力」が最も多い。自分たちで見通しを立てて進める経験が、自信に繋がっています。

- ・非認知能力の育成（協力・粘り強さ）

自由記述では「みんなと仲良くなれた」「あきらめない心が成長した」といった声が多く、チームでの協働や困難を乗り越える力が養われてきています。

- ・探究心の芽生え

「気になったことをすぐに調べるようになった」という回答が見られ、指示待ちではなく自発的に情報を求める姿勢が育っています。

○課題について

- ・振り返りの質の向上

「ふりかえる力」を成長実感として挙げた生徒は、計画に比べると少なめでした。活動の最後に「何ができたか」だけでなく、「次はどうしたいか」を深く言語化する時間の確保に努めます。

- ・探究の本質

まだ「ゲーム作りが楽しかった」「Scratch ができた」という感想に終始しています。「何のためにそれを作ったのか」「何を発見したのか」という探究の本質まで到達できるように、目的意識や相手意識をテーマ設定の段階で持たせていきます。

- ・時間の確保

30分では、活動時間が不十分であったと感じる子どもたちが多くいました。十分な時間を確保し、探究活動に没頭できるようにしていきます。

- ・地域や家庭との連携

成果を家族や地域に発表する機会を作り、社会との接点を持たせていきます。

(3) はげみの時間について

はげみの時間で、自分に必要な学習を選ぶことができているという回答が多くありました。一方で、8名の児童ができていないと回答しています。自分に合った学習内容や学習方法を選べる環境づくりに努めていきます。

子どもたちの活躍 がんばり紹介

★ありがとう感謝の手紙
 入選 5年 菅井ななこ
 5年 佐藤 永都

◎感謝を伝えました◎



1年生 6年生の似顔絵

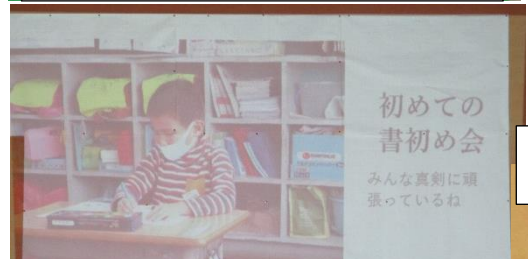


2年生 招待状・花のアーチ

6年生を送る会



3・4年生 看板・プログラム



5年生 会の企画運営・全般
 ・6年生クイズ
 ・6年間の思い出スライド
 ・ゲーム
 ・色紙原案

6年生 1～5年生へのメッセージ
 ・下級生はにこにこしながら6年生からの言葉を受け止めていました。

実行委員長
 大江鈴実さん



3月の行事予定 (弥生・やよい)



日	曜	主な予定	下校時刻	
1	日			
2	月	いのちの日 通学班長会	全校生	14:25
3	火		1・2年 14:25	3年以上 15:10
4	水		1・2年 14:25	3年以上 15:10
5	木	見守り隊 アフタースクール感謝の会	全校生	14:25
6	金	児童委員会	1・2年 14:25	3年以上 15:25
7	土			
8	日			
9	月	職員会議	全校生	14:25
10	火	児童会引継ぎ式	1・2年 14:25	3年以上 15:10
11	水	卒業式練習	1・2年 14:25	3年以上 15:10
12	木	卒業式練習	1・2年 14:25	3年以上 15:10
13	金	卒業式総練習	全校生	14:25
14	土			
15	日			
16	月		全校生	14:25
17	火	修了式 4・5年卒業式準備 弁当あり 1～3年・6年 給食・弁当なし	1～3年 6年 11:50	4・5年 13:45
18	水	卒業証書授与式 門出式	全校生	11:30
19	木	学年末休業		
20	金			
21	土			
22	日			
23	月			
24	火			
25	水			
26	木			
27	金	離任式		
28	土			
29	日			
30	月			

アルペンスキー・ブーツ・ウェア
 大変多く集まりました。感謝申し上げます。来年度購入予定の方にご案内していきます。

4月の主な行事予定

- 8日(水) 新任式 始業式
- 9日(木) 入学式 知能検査
- 10日(金)～ 学力検査
- 23日(木) 全国学力学習状況調査(6年)
- 25日(土) 授業参観 PTA総会
学級懇談 創立150周年事業部会
- 27・28日 家庭訪問
- 28日(火) 1年生を迎える会



